



タチカゴフラインドグループ
富士変速機株式会社

証券コード：6295

株主の皆様へ

第**55**期

株主通信 (中間報告)

平成30年1月1日～平成30年6月30日

環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成30年6月30日をもって第55期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）上半期（第2四半期）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年9月



代表取締役社長

河嶋 謙一

企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

当第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られるとともに、半導体関連産業等需要の下支えに加え一般工作機械投資等の設備投資動向が堅調に推移したことで、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、米国政権の通商政策動向等、海外経済の不確実性により依然として先行不透明な経済環境で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、生産体制の強化・見直しを継続的に取り組むとともに、顧客志向に立った製品開発、差別化した提案営業を推進し、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、食の安全に対するニーズの高まりを受け、「安心安全」をコンセプトとして新発売した、食品機械向けギヤードモータの積極的な営業活動を行うとともに、その他保有技

術を活かした新規開発に注力してまいりました。

駐車場装置関連事業では、都市再開発やインバウンド需要に着目した戦略的営業展開を図るとともに、製造・施工コストの管理体制強化と低減活動を進め、収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、受注獲得と安定した収益改善に努めてまいりました。この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,029百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は115百万円（前年同期比16.9%減）、経常利益は135百万円（前年同期比15.0%減）、四半期純利益は91百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

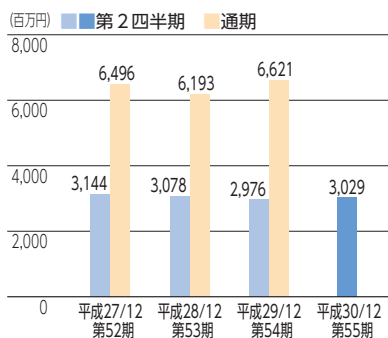
当第2四半期累計期間の概要

売上高
3,029百万円 
 (前年同期比 1.8%増)

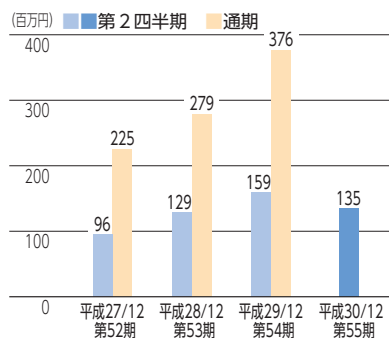
経常利益
135百万円 
 (前年同期比 15.0%減)

四半期純利益
91百万円 
 (前年同期比 12.6%減)

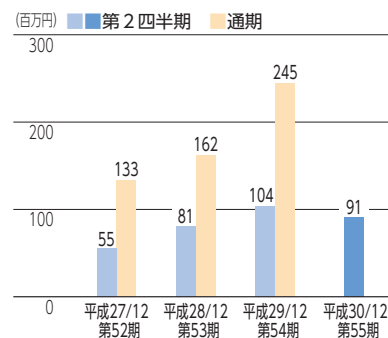
売上高



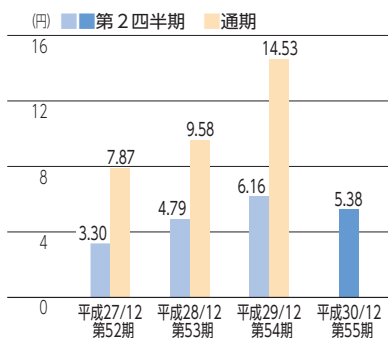
経常利益



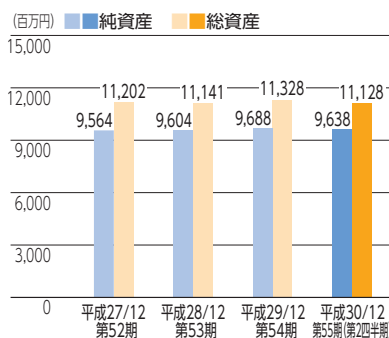
四半期 (当期) 純利益



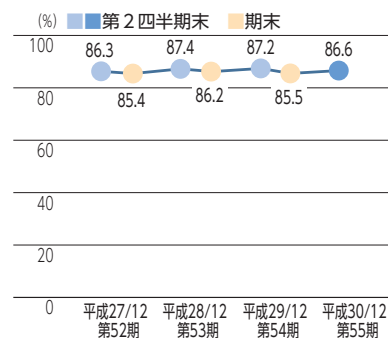
1株当たり四半期 (当期) 純利益



純資産・総資産

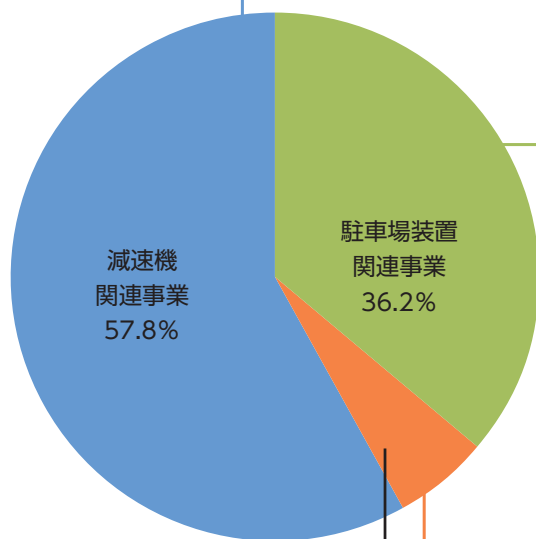


自己資本比率



セグメント別の概況

事業別売上高構成比



減速機関連事業

売上高
1,751百万円
(前年同期比 5.9%増)

《主要製品》
汎用減速機 (ギヤードモータ)
特殊減速機
シャッタ用駆動装置
消防用非常装置 (ジェットセイバー)



駐車場装置関連事業

売上高
1,095百万円
(前年同期比 4.6%減)

《主要製品》
パズルタワー
スーパーパズルGS、LB
パズルタワー・ミニ10
ペアパーク、アベルート



室内外装品関連事業

売上高
182百万円
(前年同期比 4.6%増)

《主要製品》
可動間仕切 (スライディングドア)
パネルルーバー

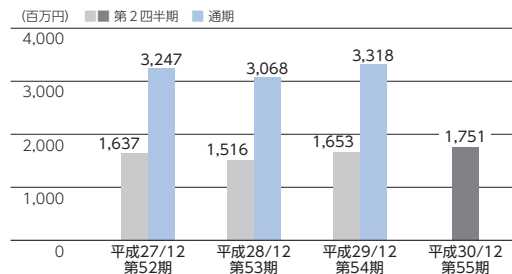


特殊減速機関連分野の受注が堅調に推移しました

設備投資動向が堅調に推移するか、当社が得意とする特殊減速機が工場生産設備等で採用されるとともに、産業機器向け汎用減速機の受注が堅調に推移し、売上高は1,751百万円（前年同期比5.9%増）とな

りました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等の取り組みおよび特殊製品や汎用製品が伸ばしたことで91百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

売上高

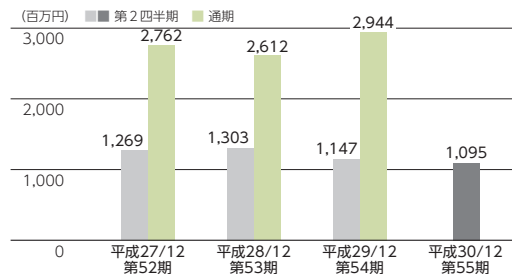


継続的な選別受注や原価低減活動に取り組みました

既設駐車場の改造改修案件等は増加したものの、新規工事において一部案件の計画変更が発生し、売上高は1,095百万円（前年同期比4.6%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な選別受注や原

価低減活動等に取り組んでまいりましたが、資材価格等の上昇や、新規工事の計画変更に伴う売上高の減少による利益減少を補いきれず26百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

売上高

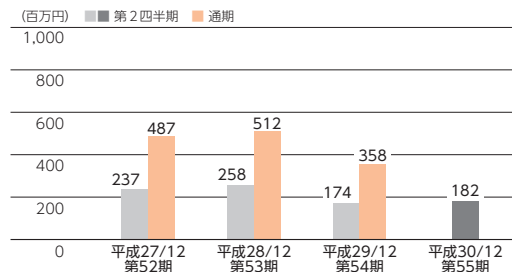


品質管理の徹底と性能の向上に努めました

品質管理の徹底と性能の向上に努めた結果受注が増加し、売上高は182百万円（前年同期比4.6%増）となりました。営業損益につきまし

ては、コスト低減活動等による収益確保に努めましたが、2百万円の損失（前年同期は11百万円の損失）となりました。

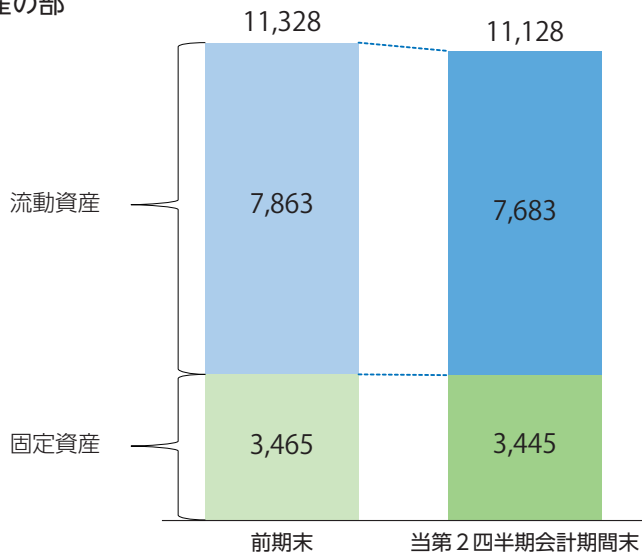
売上高



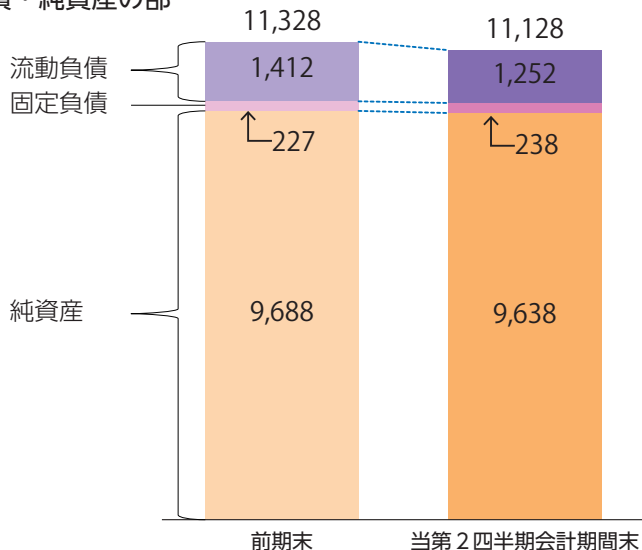
第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



1 資産

流動資産は、前期末に比べ180百万円減少し7,683百万円となりました。

これは、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことが主な原因です。

固定資産は、前期末に比べ19百万円減少し3,445百万円となりました。

これは、有形固定資産が取得等により増加した一方で、保有株式の株価下落により投資有価証券が減少したことが主な原因です。

2 負債

流動負債は、前期末に比べ160百万円減少し1,252百万円となりました。

これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な原因です。

固定負債は、前期末に比べ10百万円増加し238百万円となりました。

これは、役員退職慰労引当金が減少した一方で、退職給付引当金が増加したことが主な原因です。

3 純資産

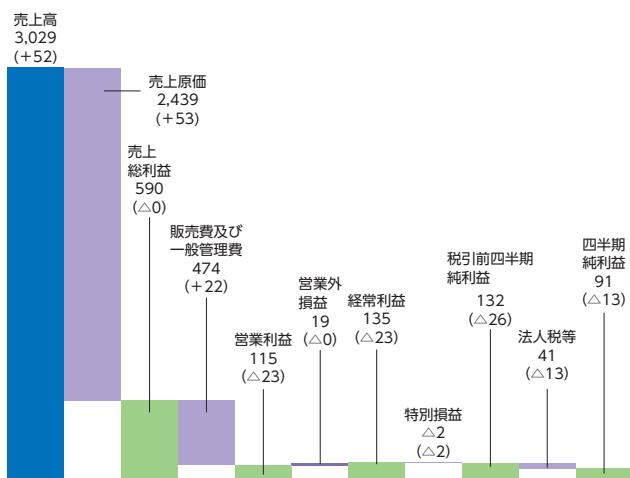
純資産は、前期末に比べ50百万円減少し9,638百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金が減少したことが主な原因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ1.1ポイント増加し86.6%となりました。

第2四半期損益計算書

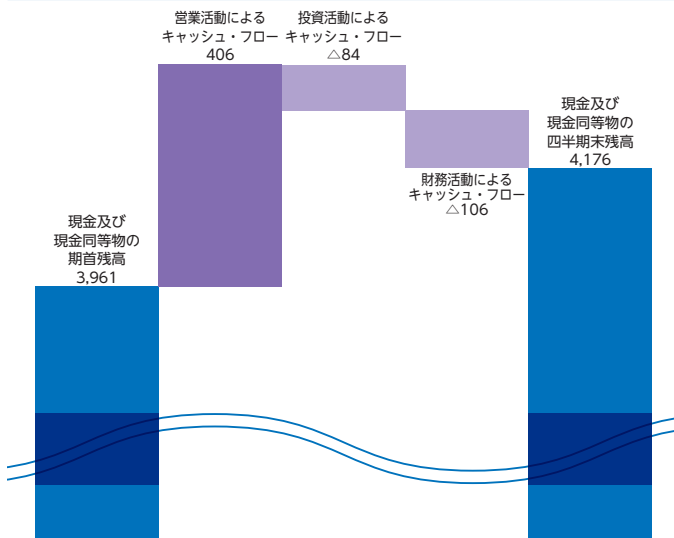
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前年同期比

第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

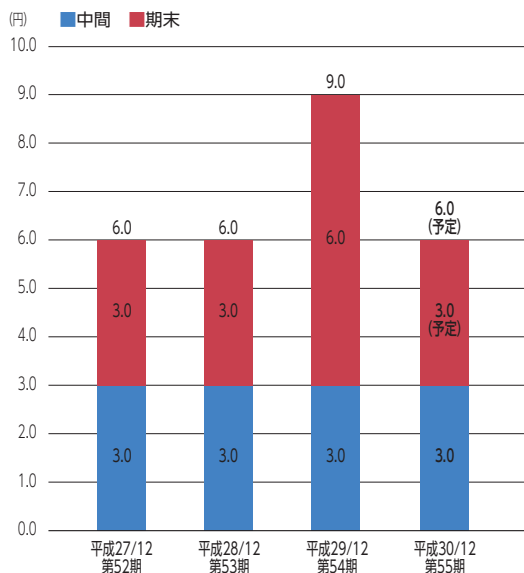


※ 百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要な政策と位置づけ、安定した配当を継続することを基本方針としております。この基本方針に基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり3円を実施させていただきます。また、期末配当金についても、中間配当金と同様に1株当たり3円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計6円となる見込みであります。

1株当たりの配当金の推移



※ 第54期 期末配当には、創業70周年記念配当3.0円が含まれております。

会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
創業	昭和22年4月
設立	昭和40年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-27) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-27) 第10684号 電気工事業 (般-29) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
従業員数	212名 (男性193名 女性19名)

主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役社長	河嶋謙一
取締役	井本明
取締役	市原英孝
取締役	山田昭広
取締役	大富裕哉
取締役	佐野通彦
取締役	堀尾剛毅

監査等委員である取締役

取締役	今村季嗣
取締役	木村静之
取締役	中丸公之

(注) 取締役の木村静之、中丸公之の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを
ご覧ください

<http://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。ぜひ一度、ご覧ください。

株式の状況 (平成30年6月30日現在)

株式の状況

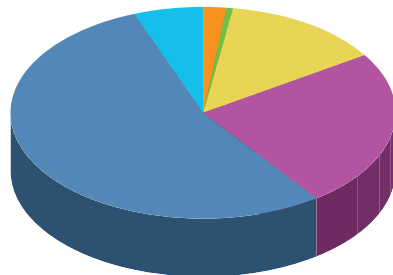
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,672名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,798	10.63
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	360	2.13
富士変速機従持会	295	1.74
三井住友信託銀行株式会社	171	1.01
岐阜商工信用組合	141	0.83
第一生命保険株式会社	141	0.83

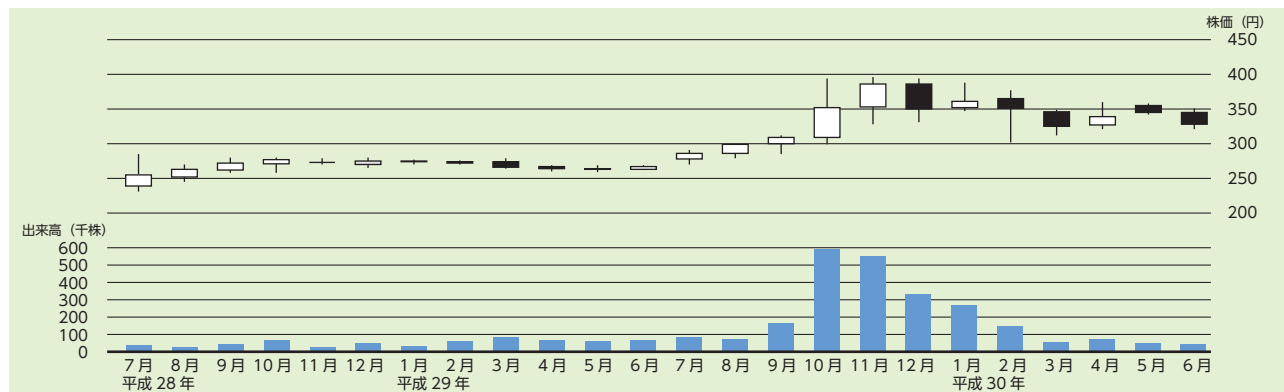
(注) 1. 当社は、自己株式1,039千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



外国人	3名	0.00%
証券会社	13名	0.18%
金融機関	14名	13.33%
個人・その他	1,587名	24.00%
自己名義株式	1名	5.78%
その他国内法人	54名	54.70%

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。